

後楽二丁目地区まちづくり整備指針補足基準（素案）についての意見募集結果

1 意見募集の概要

件名	後楽二丁目地区まちづくり整備指針補足基準（素案）
募集期間	令和6年10月14日～10月31日
提出方法	説明会、WEB、郵送、FAX、持参
意見数	33件（説明会：7件、WEB：23件、FAX：3件） ※1人または1団体から複数のご意見をいただいている場合も1件として取り扱っております。

2 意見と意見に対する区の考え方

区分	ご意見	区の考え方
1 南地区	緑と開放的な空間、文京区の中でも最高層のビルと、明るく、にぎわいのある空間になると思われますので、今後に期待しております。	「目標3 緑と水のまちづくり」で示すとおり、南地区において整備する広場空間は、緑化等によりうるおいある空間を確保するとともに、賑わいやコミュニティ活動が誘発される空間の創出を促進してまいります。
2 南地区	(1)地下鉄4路線、JR1路線を有する地域であり、個人的にも駅前の雰囲気により活性化するのであれば、積極的に再開発を進めていってほしいと思います。 (2)高層ビルのみならず、緑の多い開発をしていければ、その他の都心地域との差別化も図れるのではと思います。	(1)引き続き検討を進めてまいります。 (2)「目標3 緑と水のまちづくり」で示すとおり、地区内のまとまった広場空間の整備とあわせて、植栽によるまとまりのある緑地空間の創出や、緑が面的に広がったうるおいと憩いのある環境の創出を促進してまいります。
3 北・北西地区	等価交換の面積について、具体的な数字を出して協議する必要があると思います。住民が気にしているのは、まさにそれです。	今後、再開発準備組合及び再開発組合において、事業の進捗に合わせた各権利者の皆様との協議により検討していくこととしております。
4 北・北西地区 南地区	とてもよい計画だとも思います ありがとうございます	引き続き検討を進めてまいります。
5 南地区	目の不自由な方が多く通られるので安全でかつみんながくつろげるような緑のあるまちづくりを期待しています！ 文京区で1番高いタワーの建築楽しみにしています！	「目標1 土地利用」で示すとおり、都立文京盲学校が近接する立地にふさわしい、あらゆる人が利用しやすい歩行空間やまとまりのある緑地空間の創出を促進してまいります。
6 南地区	大規模な再開発で大変だと思いますが、飯田橋駅周辺の魅力が飛躍的に向上する画期的なプロジェクトだと思いますので、大変期待しています。 今回のような展示企画もオープンでとても良いと思います。頑張ってください。	引き続き検討を進めてまいります。
7 北・北西地区 南地区	(1)南地区の整備方針について すでに再開発が大筋決まっていますが、駅前広場から東と西地区の間の通りに継げる中央の大通りは必要だと思います。通り抜ける道として少し拡張するぐらいで良いと思います。西地区や東地区に行くには、目白通りの歩道や区道807号の歩道を利用できます。 (2)目白通りの歩道内の段差解消について 車道と段差解消するには、10mぐらいの傾斜幅を作る必要があると思います。居住地を後退させなければなりません。それより、目白通りと歩道の間木と花などのレンガ壇を無くして、コンクリート堀でカードを作っはどうか。その場合、居住地への車の出入はできなくなりますが、区内道路からの出入ができるようにすればよいと思います。 (3)後楽二丁目地区のゾーン分けについて 以前は北地区でしたが、まちづくり協議会が発足してから北・北西地区になり、令和3年には、計画建替えと個別更新ゾーンの計画手法のイメージが出されました。そして令和4年に、このゾーンのエリア分けの検討が行なわれました。この時再開発のイメージとして北と北西地区全体を計画建替えゾーンとする例と北地区の南半分を計画建替えゾーンとする例が出されました。このエリア分けは、今後の検討・協議・意向調査によって変更となる可能性があると考えられています。そもそも後楽二丁目地区の分け方に問題があります。令和3年の区のアンケート結果にもあったように後楽二丁目の整備の目標の一番大きなものは防災（火災、水害、地震）まちづくりでした。それに該当するのは、主に北地区のエリアで路地が入り込んだ密集した場所です。北西地区は目白通りと区内道路の間にあって防火しやすい所です。従って、後楽二丁目地区を分けるとしたら、区内道路を皆さんで北東地区と北西地区というふうに分けた方がわかりやすいと思います。再開発がとりざたされてから、北地区は色んな動きが出ています。高齢化、少子化が進み、家じまい、店じまい、仕事じまいが増える一方、新たにマンション住宅が4～5カ所建てられています。北地区の密集した所も、住む人がいなくなり駐車が増え、うまくいけば、4m道路を通せるかもしれません。そうすれば、北地区を再開発する必要はありません。東地区と西地区の再開発は、東京都がすすめる高層化によるしゃれ街づくりでしょうが、街はにぎわいを無くしてきています。東地区や西地区のようにならないように街づくりをする必要があります。 1～3階の低層住宅（大学生や留学生用）を増やす、多種多様なサービス業の誘致に力を入れるなどしていけば、活気を帯びると思います。つまり、北地区全体、再開発は必要ありません。整備すべき所は区として積極的に整備して欲しいと思います。再開発でないと整備できないということはありません。道路の整備、公園の整備（子供やおとなも自由に遊べる所として作り直す）など行って下さい。目白通りの木とレンガ壇を整理して5m道路に、無電柱化にすることも考えてください。 以上、思うところを申し上げましたが、ご検討下さいますようお願い申し上げます。	(1)「後楽二丁目地区まちづくり整備指針」では、南地区から東と西地区の間を通る軸について、地区内外をつなぐ主要な歩行者ネットワークとして位置づけています。地区全体に対して南北方向の軸となる歩行空間を創出し、安全に地区内外を移動可能となるよう検討を進めてまいります。 (2)南地区の目白通り側は、再開発事業区域内及び歩道の地盤を上げることで歩道内の段差解消を図ることを考えております。 (3)北・北西地区におけるゾーン分けや再開発事業等については、後楽二丁目北・北西地区まちづくり協議会において検討が進められております。区としては整備指針を踏まえて、道路整備等について協議会と協議を進めてまいります。
8 北・北西地区 南地区	バリアフリー等専門用語は、具体的な補足をつけて 理解しやすいようにして欲しい。	ご意見を踏まえて修正いたしました。
9 北・北西地区 南地区	大変素晴らしい。	引き続き検討を進めてまいります。

10	北・北西地区	<p>(1)北・北西地区の個別更新ゾーンについては任意であり、共同化を図るにおいても円滑に行うのは困難であると予想される。旧耐震だからといって簡単に建て替えを行うことはできないし、それでも促進するためには、建て替えの容積率の緩和といった何だかのインセンティブが必要に思う。</p> <p>(2)エリアマネジメントの体制づくりは、防災活動や街全体の維持のために必要なことである。しかし、北・北西地区にとっては放射25号線による分断を防ぐという意味において、その重要度は一層増してくる。飯田橋駅から北・北西地区の道筋はコミュニティ軸によって誘導される予定になっているが、道幅が大きい25号線による分断を防ぐには、エリアマネジメント体制がどう運営されるかにかかっていると考える。</p> <p>(3)かつて浸水被害があった後楽二丁目地区も、神田川の治水工事によりここ数十年被害が出なくなった。しかし、ここ数年、日本全国で天候不順による豪雨災害が多発している。「これまでにない」、「歴史的な」といった言葉も多く聞かれ、いつ被害が出てもおかしくない状況にある。災害に耐えられるまちづくりは、後楽二丁目全体に対して行うべきである。</p>	<p>(1)個別更新ゾーンについては、計画建替えゾーンの計画も考慮し、建替えを促進するための手法等を地権者の皆様と共に引き続き検討してまいります。</p> <p>(2)エリアマネジメントについては、町会や各地区のまちづくり組織から構成された地域共生マネジメント組織を構築することで、地区全体での情報連携や地域一体での防災・防犯などの安全性の向上等を図ることを想定しています。いただいたご意見は、今後のエリアマネジメント体制づくりの参考にさせていただきます。</p> <p>(3)災害に耐えられるまちづくりとして、「目標4 住宅・住環境形成」の北・北西地区及び南地区の基本方針に「災害に強い」を追記いたしました。また、いただいたご意見を参考に、今後も地権者の皆様と共に災害対策について検討してまいります。</p>
11	南地区	<p>(1)開発後に街が賑わうためには、小石川運動場側および北東広場の空間が重要。そう考えると、南地区の建物を目白通り側に寄せる形になる今の補足基準素案の考え方は妥当だと思ふ。</p> <p>(2)南地区とは別だが、新宿区側でも再開発が進んでおり、将来的にラムラとデッキで繋がる構想だと聞いている。南地区で整備される歩道橋との相乗効果が期待できると良い。</p>	<p>(1)ご意見のとおり、歩行者空間や広場空間における賑わいの創出が重要であると認識しています。南地区について、小石川後楽園側から高層部を西側へセットバックすることで、十分な広場空間を確保するとともに、賑わいの連続性の創出を促進してまいります。</p> <p>(2)ご意見のとおり、南地区について、飯田橋駅に近接した立地特性を生かし、歩道橋の機能強化や駅と一体となった魅力ある空間の整備を目指してまいります。</p>
12	南地区	<p>(1)小石川運動場・小石川後楽園との調和を考えると、建物は目白通り側に寄せるべきであり、そうすることで広場も運動場側に設けられるので、補足基準の考え方と同じ考えである。</p> <p>(2)盲学校とベンチャー企業によるイノベーション支援には期待がある。広場で技術披露会みたいなのをしても良いかも。</p> <p>(3)地域住民には高齢者も多いので、次世代モビリティといった春日方面などへのアクセスを円滑にできるようなものができるとう良い。</p>	<p>(1)ご意見のとおり、南地区について、小石川後楽園に配慮した景観形成のため、高層部を西側へセットバックするとともに、地上部に十分な広場空間を創出していきたくと考えております。</p> <p>(2)南地区について、大学の集積する地域の特性を活かしたイノベーション支援施設の導入、都立文京盲学校が近接する立地にふさわしい、あらゆる人が利用しやすいよう配慮したまちづくりを進めてまいります。具体のご提案については、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。</p> <p>(3)ご意見として承り、具体のご提案については今後のまちづくりの参考にさせていただきます。</p>
13	南地区	<p>(1)小石川運動場・小石川後楽園に近い位置に広場を設ける必要があると考えているため、景観的な観点からも西側に建物を寄せるといった考えには賛同できる。</p> <p>(2)パークストリートで地元で賑わっている姿を見て、改めてエリアマネジメントの重要性を感じた。また、ただイベントをするだけでなく、広場の維持や周辺地域との防災体制をつくるなども今後重要になってくると考えている。</p>	<p>(1)ご意見のとおり、南地区について、小石川後楽園に配慮した景観形成のため、高層部を西側へセットバックするとともに、地上部に十分な広場空間の創出を促進してまいります。</p> <p>(2)ご意見のとおり、エリアマネジメント体制の構築にあたっては、賑わいの創出のほか、良好な維持管理や地域の防災・防犯のための体制づくりが重要であると認識しています。いただいたご意見は、今後のエリアマネジメント体制づくりの参考にさせていただきます。</p>
14	南地区	<p>地域の方々に良い開発だと思ってもらうことが重要で、文京区に多くある学校などと連携できるようなベンチャー向けの施設があると良いのではないかと。</p>	<p>ご意見を踏まえ、「目標1 土地利用」の南地区の整備方針（補足）に、「大学の集積する地域の特性を活かし、社会課題の解決を目指す若手企業の成長に資するイノベーション支援施設」の導入について、追記いたしました。</p>
15	南地区	<p>(1)どちらかと言えば運動場側はひらけてた方が良い。</p> <p>(2)現在はないが、過去の浸水被害が非常にひどかった。最近あった武蔵小杉のタワマンで起きた停電のようなことが起きない開発にしてほしい。</p> <p>(3)後楽東地区・西地区間の仲通りでマルシェとかやったらどうか。</p>	<p>(1)ご意見のとおり、南地区について、小石川後楽園に配慮し、高層部を西側へセットバックするとともに、運動場側の地上部に十分な広場空間の創出を促進してまいります。</p> <p>(2)ご意見を踏まえ、「目標4 住宅・住環境形成」の整備方針（補足）に、「災害に強い」市街地形成・まちづくりについて追記いたしました。また、南地区においては、「目標6 防災まちづくり」で示すとおり、電気室を2階以上に設けるなど、防災性に配慮した建築計画とすることとしています。</p> <p>(3)ご意見として承り、具体のご提案については今後のまちづくりの参考にさせていただきます。</p>
16	南地区	<p>運動場と後楽園側を広場にするのは良い案だと思う。</p>	<p>ご意見のとおり、南地区について、小石川後楽園に配慮し、高層部を西側へセットバックするとともに、運動場側の地上部に十分な広場空間の創出を促進してまいります。</p>
17	南地区	<p>自宅前の道路は狭く、暗いので防災面は再開発で改善すると良い。また、昨今ニュースで強盗事件をよく目にする。自宅前の道が暗く、近隣の人が外出中に被害にあった場合、きづいてもらえないと不安に思う。</p>	<p>ご意見のとおり、地区内には、狭い道路が残っていることから、緊急車両の進入が困難なエリアがあるなど、防災上の課題があると認識しています。また、ご意見を踏まえ、「目標4 住宅・住環境形成」の現況の課題・地区の特性（補足）及び「目標7 住魅力を生かすまちづくり」南地区の整備方針（補足）に、防犯に関する記載を追記いたしました。建物の不燃化の促進と、耐震性の確保、地域の防災や防犯のための体制づくりを促進してまいります。</p>
18	南地区	<p>(1)小石川運動場・小石川後楽園が近いので、それらを活かした開発が良い。そうすると、高層棟を西側に寄せるべきだと考える。</p> <p>(2)再開発により、地区内の旧耐震マンションを共同化していく必要がある</p> <p>(3)今後エリアマネジメントをしていく上で、単なるイベント運営組織ではなく、新しくできる南地区内の動線や広場、東西地区の仲通り、ひいては北北西地区までもを維持管理するような組織作りが必要だと思う。</p>	<p>(1)ご意見のとおり、近隣地区や周辺施設と連携は重要であると認識しています。南地区について、小石川後楽園側から高層部をセットバックすることで、十分な空間を確保し、賑わい形成や災害時の防災拠点となる広場空間の創出を促進してまいります。</p> <p>(2)ご意見を踏まえ、「目標4 住宅・住環境形成」の現況の課題・地区の特性（補足）に「マンション再生の必要性」に関する記載を追記いたしました。南地区においては、再開発事業により共同化し、脱炭素等にも配慮した、ライフスタイルの変化に合わせた可変性を備えた都市型住宅を供給することとしています。</p> <p>(3)ご意見のとおり、エリアマネジメント体制の構築にあたっては、賑わいの創出のほか、良好な維持管理や地域の防災・防犯のため体制づくりが重要であると認識しています。いただいたご意見は、今後のエリアマネジメント体制づくりの参考にさせていただきます。</p>
19	北・北西地区	<p>(1)南地区の北東広場・駅前広場によって、賑わいが生まれるので、北地区住民の視点からしても歓迎。</p> <p>(2)防災上、木造密集地域であるため建物の更新は必須、最近減ってきているが浸水対策も必要であると考えている。</p> <p>(3)エリアマネジメントについて、特に防災においては町全体で連携を取って何か実施できると良いと思う。マネジメント組織を作って管理するのは良いと思う。</p>	<p>(1)「後楽二丁目地区まちづくり整備指針」では、地区内の南北方向につながるコミュニティ軸に沿って、広場等を配置し、賑わいなど人々の活動が連続したまち並みを形成することを整備方針の一つとしています。南地区の広場整備により、北・北西地区まで賑わいの連続が図れるよう、今後も検討を進めてまいります。</p> <p>(2)いただいたご意見を参考に、地権者の皆様と共に引き続き検討してまいります。</p> <p>(3)いただいたご意見は、今後のエリアマネジメント体制づくりの参考にさせていただきます。</p>

20	北・北西地区	(1)南地区に広場が生まれることで、北地区も巻き込んだコミュニティ軸の形成に繋がる。 (2)再開発事業における建物の更新は必要。防災上、木造密集地域であるため何かあってからでは遅いと考えている。消防が十分に通行可能な動線の整備も必要。 (3)現在も催事を地域合同で実施しているが、今後は防災についても地域の子供達に参加できるようにものをエリアマネジメントとして実施していきたい。	(1)「後楽二丁目地区まちづくり整備指針」では、地区内の南北方向につながるコミュニティ軸に沿って、広場等を配置し、賑わいなど人々の活動が連続したまち並みを形成することを整備方針の一つとしています。南地区の広場整備により、北・北西地区まで賑わいの連続が図れるよう、今後も検討を進めてまいります。 (2)消防が十分に通行可能な動線の整備として、「目標2 道路・交通ネットワーク」の北・北西地区の地区内道路において、「防災上必要な」を追記いたしました。また、いただいたご意見を参考に、地権者の皆様と共に引き続き検討してまいります。 (3)いただいたご意見は、今後のエリアマネジメント体制づくりの参考にさせていただきます。
21	南地区	(1)小石川運動場・小石川後樂園との景観のために、南地区の高層棟は西に配置するのが良い。 (2)親族の所有地のある道路沿いは、昔からの戸建が密集しており、防災上の課題があると感じている。	(1)ご意見のとおり、南地区について、小石川後樂園に配慮した景観形成のため、高層部を西側へセットバックするとともに、地上部に十分な広場空間を創出していきたいと考えております。 (2)ご意見のとおり、地区内には老朽建物が密集し、また、狭陰な道路が残っていることから、緊急車両の進入が困難なエリアがあるなど、防災上の課題があると認識しています。建物の不燃化の促進と、耐震性の確保、地域の防災のための体制づくりを促進してまいりたいと考えております。
22	南地区	自宅前の道路が狭く、防災上の課題があると思う。また、人通りが少なく、少し薄暗いので防犯上の課題もあるのではないかと	ご意見を踏まえ、「目標4 住宅・住環境形成」の現況の課題・地区の特性（補足）に、「防災・防犯上の課題」について追記いたしました。建物の不燃化の促進と、耐震性の確保、地域の防災や防犯のための体制づくりを促進してまいります。
23	北・北西地区	防災上、木造密集地域であるため建物の更新は必須。 また、火災時に速やかに消火活動できるような動線も必要かと考えている。	火災時に速やかに消火活動できるような動線として、「目標2 道路・交通ネットワーク」の北・北西地区の地区内道路において、「防災上必要な」を追記いたしました。また、いただいたご意見を参考に、地権者の皆様と共に引き続き検討してまいります。
24	北・北西地区	防災・防犯上建物の更新は早めるべきだと思う。	「目標4 住宅・住環境形成」の現況の課題・地区の特性（補足）に「防災・防犯性の不足」及び「防災・防犯上の課題がある」を追記いたしました。また、いただいたご意見を参考に、地権者の皆様と共に引き続き検討してまいります。
25	北・北西地区	最近の情勢を考慮すると、この地区は防犯上危ない気がしている。建物の更新を急いでセキュリティ強化を図るべき。	「目標4 住宅・住環境形成」の現況の課題・地区の特性（補足）に「防災・防犯性の不足」及び「防災・防犯上の課題がある」を追記いたしました。また、いただいたご意見を参考に、地権者の皆様と共に引き続き検討してまいります。
26	南地区	商売をやっているの、南街区の広場ができて、にぎわいが創出されることは喜ばしいことである。	「目標3 緑と水のまちづくり」で示すとおり、南地区において、地区の顔となるデッキレベルの駅前交流広場や、来街者や地域住民の集いの場となる北東広場を整備し、賑わいのある空間の創出を促進してまいります。
27	北・北西地区	何十年も開発を待っているが、まだ都市計画についての議論ばかりで、自分が生きているうちに成就しないのだろうと思うようになった。子供たちの代には成就してほしい。自分の家も含め、老朽化している住宅ばかりである。地震や火災に備えることも含め、一刻も早い再開発実現が地域にとって必要だと思う。	再開発事業等については、後楽二丁目北・北西地区まちづくり協議会において検討が進められております。区としては「後楽二丁目地区まちづくり整備指針」を踏まえて、協議会と協議を進めてまいります。
28	北・北西地区	西地区に住んでいる自分としても、南地区の再開発によって広場ができ、賑わいが生まれることは喜ばしい。さらにいえば、その賑わいが北北西地区にまで波及することで、北北西地区の再開発も成就しやすくなり、後楽二丁目全体の価値向上につながるだろう。補足基準については、都度更新できるようにしておくことで、段階的な街づくりを行っている後楽二丁目地区に相応しいものとなると思う。	「後楽二丁目地区まちづくり整備指針」では、地区内の南北方向につながるコミュニティ軸に沿って、広場等を配置し、賑わいなど人々の活動が連続したまち並みを形成することを整備方針の一つとしています。南地区の広場整備により、北・北西地区まで賑わいの連続が図れるよう、今後も検討を進めてまいります。 また補足基準は、まちづくりの進展に合わせて適宜更新を行ってまいります。
29	北・北西地区	北・北西地区は、文京区洪水ハザードマップにおいて洪水時に木造家屋が流失、倒壊するおそれがある家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）に設定されており、後楽二丁目地区全体の相互連携により安全で快適な複合市街地の形成を目指しているのであれば、北・北西地区の早期具体化が必要ではないか。	再開発事業を含めた具体的な検討については、後楽二丁目北・北西地区まちづくり協議会において進められております。区としてはいただいたご意見や「後楽二丁目地区まちづくり整備指針」を踏まえて、協議会と協議を進めてまいります。
30	北・北西地区	文京区に住んで30年あまり。親友の家が後楽にあるため子供を預けたり祭りに参加したり自分の街のように感じています。30年の間に再開発が進みましたが、人々の営みに変わりはないように感じています。しかしこのところ、都道により別れてしまった駅から遠い北側の地域に空き地や空き家が目立ち寂しく思っております。 大好きな後楽の街全体がそれぞれに時代に合わせた再開発をしながらも、以前のように一体感のあるまとまりを感じさせてくれる暖かい街になってほしいと思います。	放射25号線の整備に伴う地域の分断は、区としても課題と認識しております。 「後楽二丁目地区まちづくり整備指針」では、後楽二丁目地区全体での相互連携による賑わい形成と防災対応力の強化を地区全体の将来イメージとしております。いただいたご意見を参考に、地権者の皆様と共に引き続き検討してまいります。
31	南地区	(1)後楽二丁目南地区を整備し、駅からのきれいな動線を確保し、すでに竣工している2棟のビルの利便性もあげるべき。また北東広場を充実させ、地区全体を価値あるものになりたい。 南地区の開発により、区道807を整備し、賑わいを北北西地区はもちろん、小石川後樂園、東京ドーム、春日まで広げていきたい。東京ドームからの人の流れができれば、土日は閑散としている現状を打破できる。 (2)文京盲学校があり、ユニバーサルデザインに配慮したまちづくりをすすめてほしい。 また文教地区という特徴を生かし、大学発のベンチャー企業などへの支援にも力を入れ、たんなる商業施設だけでなく、知的な感じの再開発を目指したい。 (3)理想希望はたくさんあるが、まずは早く進めてほしい。 ご近所にはすでに鬼籍に入られた方も多く、自分の年齢を考えても、昭和のころから出ているこの話、一刻も早く早く決着してほしい。	(1)ご意見のとおり、地区全体としての活力と賑わいの創出や、地区内外をつなぐネットワークの強化は重要であると認識しております。地区内の南北方向につながるコミュニティ軸に沿って、店舗や広場等を配置し、賑わいや憩いなど、人々の活動が連続した街並みを形成するとともに、周辺との連携も踏まえた賑わいある空間の創出を促進してまいります。 (2)ご意見のとおり、南地区について、都立文京盲学校が近接する立地にふさわしい、あらゆる人が利用しやすいよう配慮したまちづくりを進めるとともに、大学の集積する地域の特性を活かしたイノベーション支援施設の導入を進めてまいります。 (3)南地区においては、今後、都市計画の決定に向けて、検討を進めてまいります。

32	南地区	<p>(1)目標1 土地利用について ・区のマスタープラン見直しにより拠点としての位置づけが高まったこと、及び地域特性である大学集積や隣接する千代田区側の業務集積を鑑みると、高度な拠点機能が必要である。 ・大学集積という特性を活かしたイノベーション創出として、地域や社会の課題解決に資する企業活動を促進できる施設となるように期待する。 ・まち全体としてユニバーサルデザインに配慮していく事が肝要であり、ハードの整備だけでなく、地域や行政と一体となって進めていけると良い。(イノベーション企業による当地区での社会実装及びその行政支援など)</p> <p>(2)目標2 道路・交通ネットワークについて 後楽二丁目地区全体の賑わい創出の為に南北コミュニティ軸沿いの空間づくりが重要である為、高層建物を西側に寄せる事により、低層の賑わいエリアが拡大されているのは好ましい。</p> <p>(3)目標4 住宅・住環境形成について 人目につきにくい狭隘道路が複数存在する現状は、防犯上の不安も大きい為、現況の課題として【防犯性の不足】を追記したうえで、建物共同化やそれに伴う道路整備を行っていく事を記載してはどうか。</p> <p>(4)目標7 魅力を生かすまちづくりについて 現状の東地区・西地区の公開空地に加え、南地区の開発により広大な駅前交流広場や北東広場ができてくる為、単発の賑やかに止まらず、防災・防犯から環境美化といった地域活動全体を積極化していく事が不可欠である。</p>	<p>(1)ご意見のとおり、『文京区都市マスタープラン2024』にて示された本地区の新たな位置づけ等を踏まえ、南地区においては、市街地再開発事業による土地の高度利用や防災機能を担う広場の整備、業務・商業機能の誘導を図り、文京区の南西の玄関口にふさわしい拠点の形成を図ってまいります。また、大学の集積する地域の特性を活かしたイノベーション支援施設の導入、都立文京盲学校が近接する立地にふさわしい、あらゆる人が利用しやすいよう配慮したまちづくりを官民連携で進めてまいります。具体のご提案については、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。</p> <p>(2)ご意見のとおり、賑わいのある空間の創出には歩行者空間や広場空間の確保が重要であると認識しています。南地区について、小石川後楽園側から高層部をセットバックすることで、十分な空間を確保し、賑わいの連続性の創出を促進してまいります。</p> <p>(3)ご意見を踏まえ、「目標4 住宅・住環境形成」の現況の課題・地区の特性（補足）に、「防犯上の課題」について追記いたしました。</p> <p>(4)ご意見のとおり、エリアマネジメント体制の構築にあたっては、賑わいの創出のほか、地域の防災・防犯や良好な維持管理のため体制づくりが重要であると認識しております。いただいたご意見は、今後のエリアマネジメント体制づくりの参考にさせていただきます。</p>
33	北・北西地区	<p>西地区再開発にかかりました。 西地区再開発は、先輩再開発の東地区との連絡を密にとり、常に全体の発展を考えました。この度区がお示しになった街づくりの早期実現をお図り頂きたいのは、もとよりですが、この再開発の進展において、東・西地区もその時々に合わせて、変わっていくようにお考え頂きたいと思ひます。また、北・北西地区が、決してとり残されないよう、後楽二丁目という古くからのまとまりを大切に考慮下さる様お願いします。</p>	<p>補足基準は、まちづくりの進展に合わせて適宜更新を行ってまいります。 また「後楽二丁目地区まちづくり整備指針」では、後楽二丁目地区全体での相互連携による賑わい形成と防災対応力の強化を地区全体の将来イメージとしております。いただいたご意見を参考に、地権者の皆様と共に引き続き検討してまいります。</p>